事例No.	2767
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	山下　賢太

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・移住定住 ・歳入確保

事例種類	関係人口

事例内容・タイトル

課題を価値に変える「懐かしい未来」の風景とデザイン経営

出典

令和４年度ふるさとづくり大賞事例集

最優秀賞



課題を価値に変える「懐かしい未来」の風景とデザイン経営

山下（やました） 賢太（けんた）氏

DATA

事　例　名：東シナ海の小さな島ブランド株式会社、島守株式会社
所　在　地：鹿児島県薩摩川内市里町里54番地
連　絡　先：TEL 09969-3-2212（FAX兼用）
ホームページ：https://island-ecs.jp

取組の概要

山下氏は、ふるさとである甑島（こしきしま）で、地元に住む人が地元愛と郷土への誇りを持ちながら、次の世代によりよいふるさとを残していくために、多様な事業展開（第一次産品の生産・加工、観光誘客、ツアーガイド、移住定住促進、古民家等を活用した滞在施設や交流拠点づくり等）を通じて、甑島の地域づくりに尽力している。

評価された点

- 地元甑島にUターンした後、10年以上にわたり、島の魅力や価値に光をあて、暮らしや経済活動の再生に尽力され、着実に成果をあげている点を評価。
- 廃れ行く甑島で、1人から地域経済循環（米、魚、豆腐、宿泊所）を創り出し、島外から若者移住者を引き入れて、地元の漁師とのつながりも創出。中山間地域の可能性を実証したケースとして山下氏の功績は大きい。
- 離島の資源をきちんと商品化し、集客等につなげ、移住者など、山下氏の会社を含め、18名の雇用創出の実現している点は特筆に値する。
- 大手企業等からの後援も得ており、他離島地域との相互連携という考えも今後に期待できる。事業を通じた地域づくりは持続可能性が高く評価できる。
- 山下氏が原動力となり、甑島へ地域インターンに行く学生や若手社会人を多数呼び込んでいる。これまでの功績を称えると同時に、これからの若い世代をけん引してほしいという思いも込めて今後に期待したい。

取組のプロセス

取組を実施するに至った要因・背景や地域課題
その取組を実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ 2010年～　かつての故郷の姿を取り戻すため、島外の民間企業を退職し甑島へUターン。

2010年～

耕作放棄地を含む稲作・畑作に取り組む
- 農林漁業を通じて集落景観とその暮らしを取り戻していく取り組みとし、甑島で耕作放棄地を含む稲作140a、畑作80a就農開始。無人販売所からスタート。
- 品物ではなく米作りのプロセスを売ることを戦略として、島米Shimagome projectを設立。

・甑島が持つ風景やストーリーに価値を見出す。

2012年～

東シナ海の小さな島ブランド株式会社を設立
- 山下商店甑島本店設立。
- とうふ屋さんの大豆バター等の特産品開発。




・山下商店が観光誘客のきっかけとなり始め、集落の風景や居場所作りと観光誘客に向けた滞在拠点作りを始める。

2015年～

古民家や遊休不動産を活用した事業等の展開
- 旧中甑港地域活性化施設コシキテラス。
- FUJIYA HOSTEL。
- 多拠点滞在型ホテルniclass。
- パンと週末食堂オソノベーカリー。



・公共施設の利活用等薩摩川内市と連携。

・関わりしろを地域の伸びしろとして捉え、関わりしろをデザインする事業へ。

2016年～

島内外を巻き込んだ新たな視点での事業等展開
- KOSHIKI FISHERMANS Festの企画、監修。
- 鹿児島離島文化経済圏の企画、監修。



・鹿児島離島文化経済圏に関する事業の一部は、県事業にて運営。

2021年～

島守株式会社設立
- 集落のひと・こと・場を守り育てるため、空き家等の活用、移住定住の相談、人材育成等に関する地域の窓口として機能。



今後の展望
- 鹿児島県離島文化経済圏の取組みを継続しながら、将来的には県内の離島を海域ごとに新たな共同体として捉え、新しい価値の創出と地域課題の解決へ。
- 離島での挑戦を、離島同士で後押し（共助）できる制度として「しまもり基金」の創設。

受賞者のコメント

鹿児島県薩摩半島から西へ沖合約30kmの東シナ海に位置する甑島（こしきしま）列島。美しい玉石垣と寄棟の平屋群が集落を形成し、南国情緒を感じる植物や神が宿る奇岩、断崖が織りなす環境は、島の宝物です。そこにある生活文化を原点に「懐かしい未来にある風景」をつくることを目指して、場の再生と仕組みづくり、未来への挑戦を通じた集落デザインとその経営に取り組んできました。今回の受賞は、将来への期待をこめた受賞だと捉えております。まだまだ面白くなる甑島に、今後もご注目ください。